



久しぶりのピクニック

3月7日（日）総会後、初の行事であるピクニックを行った。場所はSanto Amaro区Colonia Paulistaにある縁豊かな「Sítio Shida」。野球場が2面、サッカーフィールドもある。ホール、プール、池などあり週末や休日に貸出している。昔県人会の運動会や青年部で度々使用させて頂いた事もある。

朝8時半リベルダーデから貸し切りバスで出発。車組を含め60名ほどが参加した。今回は会員外にも開放し、神奈川、山形、北海道、福



島、東京、長野、沖縄、大分県出身者などと新たな交流を図り、各自の持寄りに、県人会で飲物、Churrasquinho（バーベキュー）を提供。プール遊び、釣、テーブルを囲み懇談と楽しい一日を過ごした。



Happy New Year



千田会長殿

NY岩手県人会 岩崎雄亮拝

ご無沙汰致しております。2月21日開催しました当会の新年（旧正月??）懇親会の写真を添付させて頂きました。全会員より、旧正月??で、おめでとう御座います。

当会員は全員、ほやほやの一歳ですが、そのかわり永住者が少なく、会員の出入りが激しいです。

それでも1998年12名のチャーター メンバーで創立しました当会も、現在では55世帯80名以上の大所帯となっております。それだけ、母県から海外に出て活躍する人が多くなつたと言うことで、大変喜ばしい事と思って居ります。

恒例の童謡（ふるさと、どじよっこだのふなっこだの、雪など）故郷を思い出しながら皆で歌い、岩手のクイズやラップルで楽しみました。

昨年は、顧問でも有りました梶原ご夫妻が永眠するなど、悲しいことも有りました。それに、一向に明るさが見えてこない大不況の中で、元気で、岩手の根性をもって、うんだうんだ、皆でがんばるバー、と誓いました。

会員皆様のご健康とご多幸を祈り上げます。

行事のお知らせ

4月18日（日）「第42回会員交流誕生会」が午前11時より開催されます。持ち寄りをお願いします。

尚、当日は「海外移住高齢者（75歳）」へ達成県知事から、贈られた「賀詞と記念品」が大志田寿、名原孝造、太田良穂、畠勝喜、千田みやこの各氏へ伝達されます。

皆さんでお祝いしましょう。

5月16日（日）第4回「わんこそば」大会が行われます。食べ放題はざるそば方式ですが、競技は3分間で競います。前売り券R\$13.00 当日券R\$15.00です。

7月16, 17, 18日 13° Festival do Japão 「第13回日本まつり」は、例年通り「イミグランテ展示場」で開催されます。テーマは日本の文化です。

8月15日（日）第43回会員交流・誕生会を行います。

9月12日（日）東北6県・北海道ブロックの「東北まつり」と「県物産展」が北海道協会で行われます。



南部せんべい巖手屋さん来館

南部せんべい本舗、巖手屋（二戸市）から小松務取締役代表ご夫妻が2月19日挨拶に来館。22日、夕刻もお土産や金一封の贈呈があった。23日、スケジュールを終えたご夫妻を迎える小宴を開いた。ご夫妻には今回3度目の来伯で、サンパウロを基点に各地を精力的に視察や旧交を温められている。

県人会が進めている「郷土物産展や販路拡大へのお手伝い」で南部せんべいは、どうでしょうかとお話をしました。輸出は船便だと赤道を越える事で「せんべい」は「酸化」して味が少し変わる性質があると聞いて、昨年お酒の南部美人の久慈さんが話していたが、今回は冷蔵庫付きコンテナで輸送した。と話しておりました。

小松氏は、今度送るからブラジルの方々に南部せんべいを味わって頂きたいと話されておりました。



後列左端が小松氏、前列右から2番目小松夫人

「移民の心を祭りの音頭に歌い上げる隠れたブラキチ」(1)

(文) 高橋 祐幸



工藤 勲 さん

「ヤーレコリヤノセーエ」の掛け声で始まる。岩手県は盛岡の八幡神社のお祭り、街に繰り出す山車の音頭で工藤勲さんは「二度と踏まずと心に誓い、出（い）でにし故郷（ふるさと）ただ恋し」と、ブラジルに移民した同胞への思いをこめて、とても八十才とは思えぬ張りのある声で歌いあげる。

「汗の一鉢（ひとくわ）心の種を稔りたわわを 祈るのみ」と、音頭は続くが、この工藤さんなるお爺さんは、盛岡八幡神社奉納山

車推進会々長であり、盛岡市無形文化財保存会々長でもある。

祭りの三日間は山車の先頭に立って、朗々と「祝い音頭」を歌い上げる元気なお爺さんだが、盛岡市の郊外滝沢村で農場を営むかたわら、なんと「祭り奉納山車」の海外紹介でアメリカ、中国、オーストラリア、フランス、カナダ、台湾などに高さ八米、重さ十数屯にも及ぶ実物の山車と、その組み付け師、飾り付け師、笛・太鼓などの囃子方、引き出しの男衆などを引き連れて、ほぼ毎年海外に出

掛けていると云うのだから、まさに「元気印の元祖」みたいな元気なお爺さんであり、日本文化の国際普及使節人でもある。

ここブラジルには、岩手県人会創立三十周年記念の一九八九年に、サンパウロの東洋街を威勢よく山車を引き出して、祝い音頭の美声を聴かせたのを皮切りに、同県人会の第三五・四十・四五・五十周年記念祝賀会と、五年に一度の節目に（延二十五年間）連続参加しているブラキチである。

四十五周年記念からは山車推進会の副会長である、盛岡の実業家鈴木正男さんと二人連れて遙々日本から飛んできて、祭り半纏にきりりと鉢巻きを締め扇を広げかざして、サンパウロ文協講堂での記念式典の舞台に登っては若者顔負けの凛々しい美声を張り上げて、「ヤーレコリヤノセーエ」碎けゆく心を支えしものは、母国に残せし親戚友人（おやのかお）と元気に音頭を聴かせ続けているのである。

ブラキチと云う呼び名は大臣とか国会議員、財界の大物、学者や文化人などの有名人で、ブラジルをこよなく贊美して呉れる人たちの愛（敬）称であるが、このお爺さんは有名人でもなんでもない、どこにでも見られる普通のお爺さんであるが、このお爺さんほどブラキチと呼ぶにふさわしいお爺さんは、いないのではないかと思えるほど「ブラジル大好き爺さん」である。
(つづく)

Dreams Come True

ニューヨーク・大連・サンパウロetc…世界16カ国。
二戸の酒米「ぎんおとめ」で造られる
二戸の地酒 南部美人は世界へはばたく。



株式会社南部美人

岩手県二戸市福岡字上町13

TEL.0195-23-3133

FAX.0195-23-4713

E-mail:sake@nanbubijin.co.jp

ホームページ毎日更新

<http://www.nanbubijin.co.jp>

●お酒は20歳になってから

南部美人を飲めるサンパウロの店

JUN SAKAMOTO TEL 3088-6019
A-1 TEL 3145-1833
BUDDHA BAR BRASIL TEL 3044-6181

SHINTORI 新鳥 TEL 3283-2455
KINOSHITA 木下 TEL 3849-6940
SHAYA TEL 3079-5020

らーめん和 TEL 3145-1833
阿吽 TEL 3145-1833
藍染 TEL 5080-3300
らん月 TEL 3085-6915

1月4日 県人会仕事はじめ。5名から新年のメール受信。

6 千田会長、味の素グループ取締役、加藤浩輝氏（北上出身）と県連で面会。（新会員として入会）

11 NHK 盛岡の小沢昌之氏より、去る12月14日放送された県人会応募のDVD「ビデオだより」届く。

12 サンパウロ、ニッケイ両新聞社へ「NHKのDVD」を届ける。
13 及川益夫、田口精基(代理)両名にて会計監査を行う。

16 15日ニッケイ新聞、16日サンパウロ新聞に県人会ビデオ「わんこそば大会」がNHK 盛岡で放送されたと記事あり。

17 第51期定期総会・新年会開催される。（遠くはポルトアレグレから藤沢晴巳夫妻も）

20 及川さおりさん（江刺区、JICA派遣でアルゼンチン在）電話あり。アルゼンチンから生徒5名を連れて日本語センター主催「日本語ふれあいセミナー（3日間）」に出席し来館。旧交を深める。

23 サンパウロ新聞主催座談会「ブラジルに日系コロニアは必要か」に会長出席。

27 会長は宮城県人会で東北ブロック物産展について大和商事と意見交換。

28 ブルーツリーホテルで開かれた県連代表者会に会長出席。

2月2日 東北ブロック物産展のため JETRO サンパウロ事務所を4県人会代表が訪問し意見交換。

8 三枝たかこさん援護協会の招聘で、再来伯の報あり。
10 会報 166号を国内外へ発送。

※ 宮城県人会で開かれた東北ブロックまつり会合に会長出席。
12 山田町の松本トミさんから親書受信。海岸地方も雪が降ったと伝えております。

14 2月度役員会開催 議題は、年間行事の見直し、ピクニック（3月7日）、日本まつり、東北ブロック祭り、その他など。

16 県庁へ平成21年度海外県人会育成助成金報告書を郵送。

17 東北祭り会合に会長出席。

21 ショッピング・イグアテミ内で開催されている、JETRO 主催「JAPAN FOODS」を岩手、宮城、秋田の県人会長で視察。

22 19日挨拶に訪れた二戸市の小松務取締役夫妻（南部せんべい本舗）が夕刻来館され、お土産や金一封があった。

24 岐阜県からの旅行者「松岡不二子」さん、今タバスでアルゼンチン向け出立。（県人会を拠点に約3ヶ月滞在）Boa Viagem

25 三重県人会で開かれた、県連代表者会に会長出席。

会費納入者名（1～3月）敬称略（年額75レアイス）

加藤浩輝（新・北上出身）、和田司（賛）、野崎寿美子、岩船孝幸マルセロ、

（2月）及川公雄、佐々木寛一、谷田部昭代（新・賛）、高橋好子、高橋啓一、千田輝海、平野マリア、平野ジョゼカルロス、平野とみお、佐々木憲輔、佐々木次男、千葉直義、石井紅夫（賛）、裏田重夫、元粕えいじ、昆野昭仁ワシントン、昆野とし子、柄沢千秋、上村けい子、太田良穂、村松弘一、安武俊毅（新賛・福岡）、

（3月）渡辺ミチ（新・賛）、和賀希耕、菊地義治、菊池満、伊藤範夫（賛）、小谷一芳（賛）、大志田寿、千葉キク、橋本敏郎（新・賛）、阿部正司、阿部貴司アイレス、児玉道義ミルトン、二瓶隆一（賛）、平尾宏子、菊池徹、

賛助会費納入者名 敬称略（海外）

岩崎雄亮（N Y）、佐藤節夫（金ヶ崎）、岩船信一（静岡）、吉田重雄・吉田英子（盛岡）、清水康宏（盛岡）、

寄付・寄贈（11～1月）敬称略

お茶菓子 佐々木憲輔、図書利用者など、金一封と南部せんべい、マスコット 小松務ご夫妻（南部せんべい、二戸市）、100 高橋よし子、20 門脇かずお、金一封 中古冷蔵庫 千田家、20 宮城義晴、30 小崎敬子、75 内田ふかし、ノート2冊 小林よしえ、

「図書寄贈者」（敬称略）

（1月2月）松田 23冊、石崎矩之 1冊、無名氏 2冊、細谷 6冊、千田曠暎 27冊、中川玉恵 3冊、宮城義晴 4冊、中順子 1冊、渡辺洋子 1冊、兵頭 22冊、飯塚のり子 211冊、中家君子 1冊、筒井信夫 163冊、合計 465冊、

お礼 いつも多くの皆様方からの図書寄贈に感謝申し上げます。中には他に寄贈すると、安く売られて心地良くないと云う方々もおります。県人会「ふるさと図書室」では、寄贈本にカバーを付け、気持ちよく借りて頂くよう心がけております。

県人会図書利用

1月 201名 864冊
2月 200名 830冊



**事務所来館者数 1月 449名、2月 511名、
(1階ホール利用者数は含まれておりません)**

チリ津波お見舞い

チリ地震による50年ぶりの大津波が予報された県内、観測では宮古では1m20cmを記録、所によると1.90mにも達したと言う。県沿岸6市町村では養殖棚が流され、水産被害は17億超円になる見通し。地域沿岸部の皆さんにブラジル県人会員一同心よりお見舞い申し上げます。

写真=津波による浸水の影響で、陸揚げされていた地点から道路上に数メートル移動した小舟



逝去の報



★ 熊谷 泰志氏（行年77歳、岩泉町出身、東京農大中退）は3月3日夜急逝され、翌4日ビラアルピーナ火葬場でお別れの葬儀がありました。

県人会理事、副会長、相談役を長期にわたり歴任。氏は1959年プロボクサーとして異色の移住者。着伯後ブラジル選手を相手に7戦全勝。親戚の勧めもあり製菓業に変身。氏はボクシングジムを作りボクサーを育てる事が夢でした。

尚49日法要は4月17日（土）午後3時からサンジョアキン街の仏心寺にて行われる。

★ 後藤 妙子さん（行年88歳・和賀郡湯田村出身）は、16日夜糖尿が悪化し急逝されました。後藤さんには婦人部員として活躍されました。

お二人のご冥福を心から祈念申し上げます。

岩手管礼訪問日誌

(2)

記 千田

9月10日(木)「滝沢村表敬」午後県庁に集合。吉田恭子さん、国際課主任の佐々木ユカさんが同行。滝沢村の柳村典秀村長を表敬訪問。役場の大広間で同開拓村出身の工藤五三郎氏家族に敬意を表し「お帰りなさい工藤さん」と横断幕が掲げられ全職員の歓迎を受けた。(写真)



柳村村長の歓迎の挨拶、千田県人会長に続き、工藤さんは同村での開拓や移住後の話をされた。藤村副会長は胸に詰まつて言葉もありませんとチヤッピリ。短い挨拶に爆笑?...

村長室で改めて懇談。県人会から草創期に県人を訪ね写した、同地出身者の名前や写真を見ながら、村長は大森さんの写真を見ながら同村在の親戚ではとたずねていた。同村長と副会長の甥勝巳さんは以前から周知の仲であった。

「盛岡農業高校」「盛農創立130周年記念交流事業」で、8月同校生徒7名はパラグアイで交流体験の帰途12日ブラジル県人会を訪問。短い時間だったが交流を図った。それから1ヶ月後生徒や先生方と再会できた。

生徒達は短い時間だったけど、南米の県人が逞しく活躍していることに感動。それぞれ胸を張って将来への希望を語ってくれた。校舎見学や実習場を見学してお別れした。



校舎前にて生徒たちと

「開拓地訪問」農高からの帰り工藤五三郎さんが開拓した村を訪問した。同

地には工藤さんが開拓した土地で頑張っている親戚が営農を営んでいる。元々工藤さんは岩泉町出身で、戦後滝沢村の開拓地に入植。随分とご苦労された話を懐かしく話されていた。



11日 藤村勝巳、藤村秋夫両氏の車で、江刺区の渡辺幸貴県議会議員宅を訪問。自宅近くを新幹線が走っている。ご家族に迎えられひととき懇談。



渡辺幸貴県議員自宅前で
渡辺氏の案内で近くの農産物集配センターを視察。収穫期のりんご、トマト、人参が流れ作業で箱詰めされて行く。果物は糖度まで測定され選別される高度な機械が入っていた。



オートメ化された選別機

さと
「えさしの郷視察」渡辺氏に案内された園内のレストランで昼食後、「広大なえさしの郷」を見学。8世紀から約300年続いた奥州藤沢家隆盛の歴史建造物として、NHKが当時巨額を投じて再現した郷で、時代劇に欠かせない歴史的建築物が並んでいる。この建造物や園内口ケで様々な作品が今も作られている。今放映

されている大河ドラマ「竜門伝」の1部口ケに使われている。見学をして当時の藤原三代の隆盛を偲ばせる建造物であった。



往時をしのぶ館と人形



江刺の郷

「後藤新平博物館」郷土の偉人水沢の後藤新平記念館を見学。後藤は明治、大正昭和初期の医師、官僚、政治家で、台湾総督府長官、満鉄初代総裁、3部門の大蔵、東京市長、拓殖大学長その他様々な要職を歴任している。(私の父は終戦まで満鉄の通信員を勤め、終戦後壱島(コロトウ)から6歳で引き揚げるまで奉天市にいた、当時の地図を見て何故か走馬灯のように当時の微かな思い出が懐かしく走った)



後藤新平記念館前で

つづく



とおのし
遠野市

(遠野市ホームページより)

遠野市は、「永遠の日本のふるさと遠野」として知られ、花巻市と釜石市の中间に位置し、平成17年に宮守村が合併。人口3万2千余、面積8万Km余。原風景が美しい町である。

遠野市は柳田国男の「遠野物語」で知られ「オシャラサマ」や「カッパ」が出てくる民話で有名である。一昨年NHKの朝ドラ「どんど晴れ」で河童淵や民話が紹介された。

また、200年前に建てられた千葉家の「南部曲り家」は、国指定重要文化財に指定されている。観光施設は、市立博物館、昔話館、城下町資料館、郷土人形民芸村、七觀音、伝承園、南部曲り屋、たかむろ水光園、福泉寺、ふるさと村、



ガッパ渓

馬の里、柏木平レイクリゾートなど多彩。祭りは、馬力大会、まぬけ節フェスチバル、どべっこまつり等地元ならではのお祭りもある。また、2010年6月14日に『遠野物語』発刊100周年を迎えるにあたり、遠野市ではこれを契機として豊かな文化を活かしたまちづくりを推進します。

遠野市全景



Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil

ブラジル岩手県人会

RUA THOMAZ GONZAGA, 95-M - CEP 01506-020 - LIBERDADE - SÃO PAULO - BRASIL

TEL/FAX (11) 3207-2383

www.iwate.org.br - e-mail: iwate@iwate.org.br

※ ブラジル岩手県人会ニュース 2010年3月発行 167号

IMPRESSO

PODE SER ABERTO PELA ECT

ふるさと
めぐり

24